



電源の投入とデバイスの接続

- [Cisco Tetration クラスタ デバイスのアース接続を行う \(1 ページ\)](#)
- [Cisco Tetration クラスタ デバイスの電源を投入 \(1 ページ\)](#)
- [Cisco Tetration クラスタのルータに接続への接続 \(2 ページ\)](#)

Cisco Tetration クラスタ デバイスのアース接続を行う

Cisco Tetration クラスタのデバイスはラックに金属間の接続があるため、ラック（またはデュアルラックのインストールの場合は複数のラック）をデータセンターの地表に接地するとすぐに、ラックのデバイスが接地されます。ラックを接地するためには、ラックホイールをアース地表に接続します。

Cisco Tetration クラスタ デバイスの電源を投入

スイッチに電源投入するには、2つの AC 電源へのラックに付いている2つの電源ストリップを接続する必要があります。



(注) この装置をNFPA 70 National Electrical Code (NEC) に準拠するサービス機器で、サージ保護デバイス (SPD) に付属の AC 主電源に接続します。

設置手順を読んでから、システムを使用、取り付け、または電源に接続してください。


このユニットを電源回路に接続するときは、配線を過負荷にしないでください。

始める前に

- ラックはデータセンターに設置され、コールドアイル内に配置された吸気口を所定の位置に固定しました。
- ラックにデータセンター アース接地する必要があります。

- クラスタは、2つの顧客が指定するルータ (別のリーフ スイッチに接続されたそれぞれのルータ) に接続する必要があります。
- 電源要件を満たす2つの電源が各ラック電源ストリップケーブルの近くにある必要があります。

ステップ1 AC 電源に1つの電源ストリップの電源ケーブルを差し込み、もう1つの AC 電源に2つ目の電源ストリップの電源ケーブルを差し込みます。

ステップ2  LED が緑に点灯していることを確認するために、ラックのデバイスのそれぞれに設置された各電源を確認します。

- いずれのLEDも点灯していない場合は、電源がオンになっていることとラック電源ストリップのオン/オフスイッチがオンになっていることを確認します。
- これらのLEDの一部が点灯しているが、他が点灯していない場合は、その電源から電源ケーブルがラックの電源ストリップに完全に接続されていることを確認します。

次のタスク

ユーザ インターフェイスを設定する準備ができています。

Cisco Tetration クラスタのルータに接続への接続

Cisco Tetration クラスタは、2台のルータに接続する必要があります。

ステップ1 39-RU 大規模フォーム ファクタ デュアル ラック クラスタをインストールする場合は、各ラックで部分的に接続されたインターフェイスケーブルを接続します。これらのケーブルのそれぞれに対して、他のラックでラベルが付けられたポートに接続します。

ステップ2 10 ギガビットケーブルを使用して、39 RU 展開の場合はリーフ 1 スイッチのポート E1/39、8 RU 展開の場合はポート E1/47 にルータを接続します。リーフ 1 スイッチは、次の場所にあります。

- 39-RU 大規模フォーム ファクタ シングル ラック プラットフォーム - プラットフォーム ラックで RU 40
- 39-RU 大規模フォーム ファクタ デュアル ラック プラットフォーム - ラック 1 で RU 40
- 8-RU 小規模フォーム ファクタ プラットフォーム - プラットフォーム ラック で RU 12

ステップ3 10 ギガビットケーブルを使用して、39 RU 展開の場合はリーフ 2 スイッチのポート E1/39、8 RU 展開の場合はポート E1/47 にルータを接続します。リーフ 2 スイッチは、次の場所にあります。

- 39-RU 大規模フォーム ファクタ シングル ラック プラットフォーム - プラットフォーム ラックで RU 41

- 39-RU 大規模なフォーム ファクタ デュアル ラック プラットフォーム — ラック 2 の RU 41
 - 8 RU 小規模フォーム ファクタ プラットフォーム - プラットフォーム ラック で RU 11
-

